

保健人権部会ってなにしてるの？

日頃より、保健人権部会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

保健人権部会は「子どもの体と心について、みんなで一緒に考えていこう」という思いから、学校運営協議会の中で2024年12月に発足しました。

現在は、校長先生を含む6名で活動し、保護者への情報発信や授業見学、講演会の開催などに取り組んでいます。

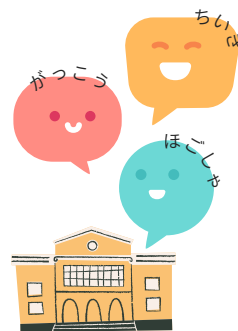
子どもも大人も、「自分は大切な存在だ」と感じられる温かい環境を、皆さんと一緒に育てていきたいと思っています。

学校運営協議会って？

学校運営協議会は、学校・地域・保護者が力を合わせて子どもたちの学びや育ちを一緒に支えていこうとする仕組みです。

それぞれの立場から代表者が集まり、学校や子ども達のことを共に考え、話し合っています。

あまり知られていませんが、実はこの取り組みは、枚方市内すべての小中学校で行われています。



12月は、学校、五常校区地域コミュニティさん、PTAさん、子どもは未来さんをはじめ、色んな団体さんと協力して実現した、「みんなではぐくむいのちのフェスタ」を開催致しました！みなさまのご協力のおかげで大盛況の一日でした。また、ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。すれ違うみなさんの笑顔を拝見してとてもうれしい気持ちでいっぱいだった保健人権部会メンバーです。さて、今号ではそのフェスタを含め、保健人権部会が2学期に活動した内容についてご報告致します。

Topic 8月 4年生性教育「境界線」参観

10月 同志社大学見原ゼミ様より絵本の受贈

11月 教育委員会コラボ企画「思春期を科学する」講演会協力

11月 五常文化祭展示

12月 みんなではぐくむいのちのフェスタ

「オトナノツドイ」講演会開催



教育委員会 思春期セミナー 『思春期を科学する』

令和7年11月2日（日）、本校学校運営協議会保健人権部会の企画により、思春期セミナー『思春期を科学する』が開催されました。

当日は、天の川レディースクリニック副院長・産婦人科医の山下衣里子先生を講師にお迎えしました。山下先生は、市内多くの中学校において毎年多くの生徒を対象に講演を行っておられ、豊富な経験をもとにした分かりやすいお話で知られています。

講演では、性の仕組みや性感染症といった基礎的な内容に加え、性の多様性やジェンダーなど、近年注目されている包括的性教育についても丁寧にお話しいただきました。

正しい知識を知ることの大切さや、自分自身の心と体を守ること、そして他者を尊重する姿勢について学ぶことができ、子どもたちのこれからにつながる貴重な学びの時間となりました。

また、当日は保健人権部会による書籍コーナーを設け、養護教諭の

西田先生ならびに部会おすすめの絵本や書籍を紹介しました。家庭でも話し合うきっかけとして、多くの保護者や地域の皆様に手に取っていただき、関心の高さがうかがえました。



五常文化祭における 保健人権部会の展示

2025年11月16日に五常文化祭が開催されました。その際に私たち保健人権部会もブースをひとつ頂き展示コーナーを開きました。

ポスターには発足時から今までの活動を描き、隣にはおすすめの絵本コーナー、受精卵カードを作成し、寄付頂いた方にプレゼント致しました。

大人だけではなく小さな子どもも受精卵カードに興味を持ってきて親子でいのちの大きさについて会話している光景を見てホックリしました。

また募金箱も設置し、募金額¥3,566 頂きました。

ありがとうございました！

地域の皆様にもご協力を頂きながらコーナーを開催することができました！

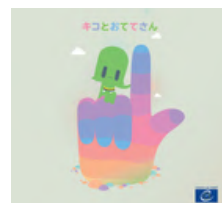
皆様ありがとうございました。



絵本の寄贈について

このたび、同志社大学グローバル地域文化学部 見原礼子准教授より、性やからだ、こころの大切さをやさしく伝える絵本『キコとおてでさん』『せんわのわたしどり』の2冊を、五常小学校へ寄贈していただきました。

子どもたちが自分のからだや気持ちを大切に、人との境界線について考えるきっかけとなる本です。学級文庫や図書室、保健室などに置いていますので、参観の際などにぜひ手に取ってご覧ください。



境界線のおはなし

8月27日、4年生は各クラス教室で養護教諭の西田先生から「境界線」について教えてもらいました。

この授業で境界線と共に伝えられたのは、「あなたは世界でたったひとつの存在」

”あなたの「からだ」はあなたのもの” ”あなたの「こころ」もあなたのもの”というテーマ。

”自分のからだど心大切に、そして相手のからだど心大切にできる人になってほしい”

そんな想いで子どもたちに届けられた授業でした。



あなたは大切な存在

“あなたは世界でたったひとつだけの存在”

あなたの「からだ」はあなたのもの

あなたの「こころ」もあなたのもの



これをテーマに、自分を守るために知ってほしい大切なお話をしていただきました。



「境界線」ってなあに？

「境界線」とは、自分が「大丈夫だ」と思うことと、「これはイヤだ」と思うことの間を分ける見えない線みたいなものです。自分を守るために知っておいてください。



境界線には「からだ」「持ち物」「気持ちや考え方」「性」4つの種類があります。



からだの境界線

持ち物の境界線

気持ちや考え方の境界線

性の境界線



からだの境界線



みんなのからだのまわりには、自分と相手との間に、目に見えない透明バリアがあります。

そこに人が入ってくると自分のセンサーが発動します。

自分のセンサーはとっても大切。

いやだと感じたら言っても大丈夫。

あなたのからだはあなたのもの。

自分と人との距離はあなたが決めていいんです。

ちょうどいいキョリって？

自分と人とのちょうどいい距離は、人によって変わります。

みんな一緒じゃなくてもいいんです。

相手（どれくらい仲良しか）によっても、そして時と場合によっても変わってきます。

人は、自分が手を伸ばした距離より中に入ると、ドキッとするとされていますが、これが満員電車だったら…その時はそこまでいやと感じず、「しょうがない」ってなりますね。



境界線をこえるときは

例えば、「手をつなぎたいな」と思った時、何も言わずにつないだらびっくりしますよね？

からだの境界線をこえる時は、「言葉」で気持ちを確かめてください。



また、いやなときにいやということも大切。

言われた側はショックに思うかも知れないけれど、これは手をつなぐことがいやなだけで、あなたのことがいやなわけではないんですよ。



持ちものの境界線

持ちものやお金にも境界線があります。



先生であっても…
大人であっても…
親子であっても…



勝手に人のものを
使ってはいけません。

使いたいときは、「ちょっと貸してもらってもいい？」という同意が必要です。

人によっては、「全然気にしない」「自由にどうぞ」という人もいるかもしれませんが、それは聞いてみないとわかりません。

だから勝手に人の持ち物を触ってはいけません。

必ず、「聞く」という同意をとりましょう。



気持ち・考え方の境界線



自分の気持ちは自分のもの
どんな気持ちも◎ どんな考え方も◎
人が決めることはありません。

例えば… 炭酸ジュースを飲む？飲まない？

飲む→炭酸が好き、
のどが潤いている
飲まない→炭酸きらい
今はそんな気分じゃない

飲みたくない人に無理やり飲ませるのはだめ。



その人の気持ちを大事にしよう。

イヤなときはイヤっていい

例えば・「手をつないでいい？」で聞いた時に「イヤ」で言われたらちょっと悲しいかも・
でもそれは、あなたがイヤなんじゃなくて、「手をつなぐこと」がイヤなだけ。もしかしら、その時は汗かいてるから、とか理由があったのかも？
黙っていても「NO」のサイン。でも「イヤ」で言われても悲しい気持ちにならないで。「わかった」と相手の気持ちをわかってあげたことがとても誇らしいことなんだよ〜。と教えて頂きました。



ちゃんと自分の意見として、「イヤ」をいう事や相手の「イヤ」を認めることは大人になっても難しい事。でも、ちゃんと言ってもらえるという事や、相手の意見を認めることは素晴らしいという事を小さいうちから理解できていけば、「イヤ」という事は難しくないとかなのかなと思いました。

あなたのところはあなたのもの

「どんな気持ちをもっていい」し、「何を大切にするのか」も、自分のところは自分で決めていいんです。

どのような考え方があっていい。
これもみんないっしょじゃない。

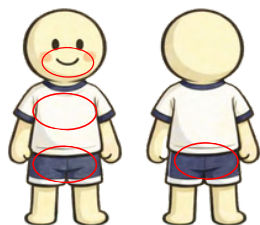
気持ちや考え方にも境界線があって、だれがどんな気持ちをもっていいし、どのような考え方があっていいんです。



性の境界線

プライベートゾーン

体操服でかくれるところを「プライベートゾーン」というよ。
むね、おしり、性器、それと口。
前は水着でかくれるところと言われていたけど、男の子の胸も大事だから体操服でかくれるところとなったよ。



どうしてプライベートゾーンが大切な？

「プライベートゾーン」は、体の中につながっていて命を作り育てる特別なところ、いのちの誕生にかかわるところ。

性器は、いのちの素が作られる場所、いのちの通り道、いのちを育てるところなので特別に大事。
胸も、赤ちゃんにおっぱいをあげたりするので大事。
口は、体操服では隠れない場所だけど、体の中につながっているの大事。

最近の子どもたちは幼稚園や保育園でも、プライベートゾーンについて教えられています。それはこんなに大事な場所だからなんです！

プライベートゾーン4つのお約束

1 みせない

自分のプライベートゾーンを他の人に見せない。
温泉はok。『みてー』はダメ。

2 みない

他の人のプライベートゾーンをジロジロ見たりしません。

3 さわらせない

自分のプライベートゾーンを他の人にさわらせない
自分だけが触って良いところ。

4 さわらない

他の人のプライベートゾーンをさわらない。

NO GO TELL



いやだ！

やめて！！
とはっきり
NOの気持ちを
声に出そう。

すぐ逃げる事。

ポイントは
明るいところや
広いところに
逃げる事です。

安心できる大人に
話しましょう。
家族以外でも、
相談できる大人を
いれて3人思い浮
かべてみよう

これってOK?なんていう?クイズ

これってOK?

- ①ふざけて、友達のお尻タッチ。
- ②胸の写真を撮らせてと言われたからいいよと見せた。
- ③知ってる人にプライベートゾーンを見せられた。
- ④見せたこと、秘密だよと言われたから秘密を守る。

A.ぜんぶ



こんなときはなんていう?

- ①お友達に嫌なことされた時は？

いやだーやめてーという。

A自分の気持ちを伝えていいです！

- ②兄弟や友達にやめてと言われたら？

ごめんね〜と相手の気持ちを
受け入れよう。

親しい関係でも相手の気持ちを
A聞いてからしましょう！

西田先生からのメッセージ

いつかはしたいと思っていた境界線の授業を行えたことは、私にとっても大きな一歩でした。

4年生頃になると、自分と人を比べたり、周りから見た自分が気になったり始めます。だからこそ、自分がどれだけ大切な存在か、また、同じように他の人も大切な存在だということを伝えたい。自分を大切にすることはどういうことか。それは、自分の気持ちを否定せずに認めてあげることだと思います。

子どもたちは、とても真面目です。悪い気持ちを持つことは良くないことだと思っている子も多いです。

でも、そんな気持ちも自分の大事な気持ち。

いろんな自分を自分の中に受け入れながら、成長してほしいと思っています。

今回の境界線の授業が、これから自分の体と心を守る力になっていくことを願っています。

どんな色の気持ちも
大切にね！



みんなではぐくむいのちのフェスタ

2025年12月7日（日）、五常小学校で「みんなではぐくむいのちのフェスタ」を開催しました。

テーマは「いのち・からだ・こころ」

大人も子どもも学んだり、あそんだり、おしゃべりしたりしながら、

自然といのちや性について、やさしく前向きに感じられる一日となりました。

午前中は、保護者・教職員・地域住民・医療関係者といった、子どもを見守る大人たちが集う”オトナノツドイ”を開催。

「今、私たち大人ができることを考えよう！」をテーマに、

子どもの性・いのち・安全をどのように伝えていくかを学び、話し合いました。

また、当日は子ども向けの体験ブースや音楽ライブ、ワークショップも実施。

世代をこえて人が集まり、あちこちで自然と会話が生まれる、笑顔いっぱいの時間になりました。



講演会「オトナノツドイ」

どうしてオトナノツドイなの？

今、子どもたちはSNSやゲーム、動画などを通して、性に関するさまざまな情報にふれる機会が増えています。

便利で身近な一方で、その中には正確ではない情報が含まれていることも少なくありません。

だからこそ、小学校や家庭での性教育は、これまで以上に大切な学びだと私たちは考えています。

まずは、大人が正しい知識を学び、自分自身の理解や価値観をアップデートしていくこと。その積み重ねが、子どもたちの戸惑いや不安に気づき、安心して寄り添い、適切に向き合う力につながっていくと思います。

そのために、子どもを見守る大人たちが立場をこえて集い、学び合い、対話する場として、私たちは「オトナノツドイ」を開催しました。



ゲスト紹介

ERIKO YAMASHITA



REIKO HORIKAWA



天の川レディースクリニック副院長 山下衣里子先生

天の川レディースクリニック副院長。

不妊治療およびヘルスケア専門医として思春期婦人科治療にも従事。

日々、様々な境遇やライフステージにある女性たちを、医療の面から全力で支えている。

また、思春期の子どもたちに正しい知識と安心を届けるため、枚方市内外の中学校で性教育講演を行っている。

性教育チーム「カラフルウェーブ」代表 一與幸さん

看護師・看護専門学校教員として人材育成に携わるとともに、性教育実践者として活動。

性教育チーム「カラフルウェーブ」を運営し、子どもから大人まで、年齢や立場に応じた性教育を現場で届けている。

グラフィックレコーダーの大窪武志さん

講演や対話の内容を、絵や図、短い言葉でリアルタイムに可視化している。

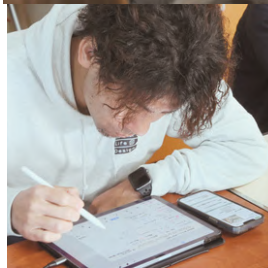
複雑なテーマも直感的に理解できるよう整理し、参加者の学びを深めるサポートを行う。

ファシリテーターの堀川礼子さん

参加者同士の対話が安心して深まるよう、全体の進行を担当。

一人ひとりの声が尊重される場づくりを大切に、学び合いの時間を丁寧に支える。

TAKESHI OKUBO



MIYUKI ICHIKUMI





前半の山下先生の、医療の現場で女性の一生を長く見守ってこられた立場からのお話は、性教育を一時的な知識や思春期だけの課題として捉えるのではなく、幼少期から思春期、そしてその先へと続いていく、いのち・からだ・こころ・健康の学びとして考える視点を、私たちに届けてくださいました。

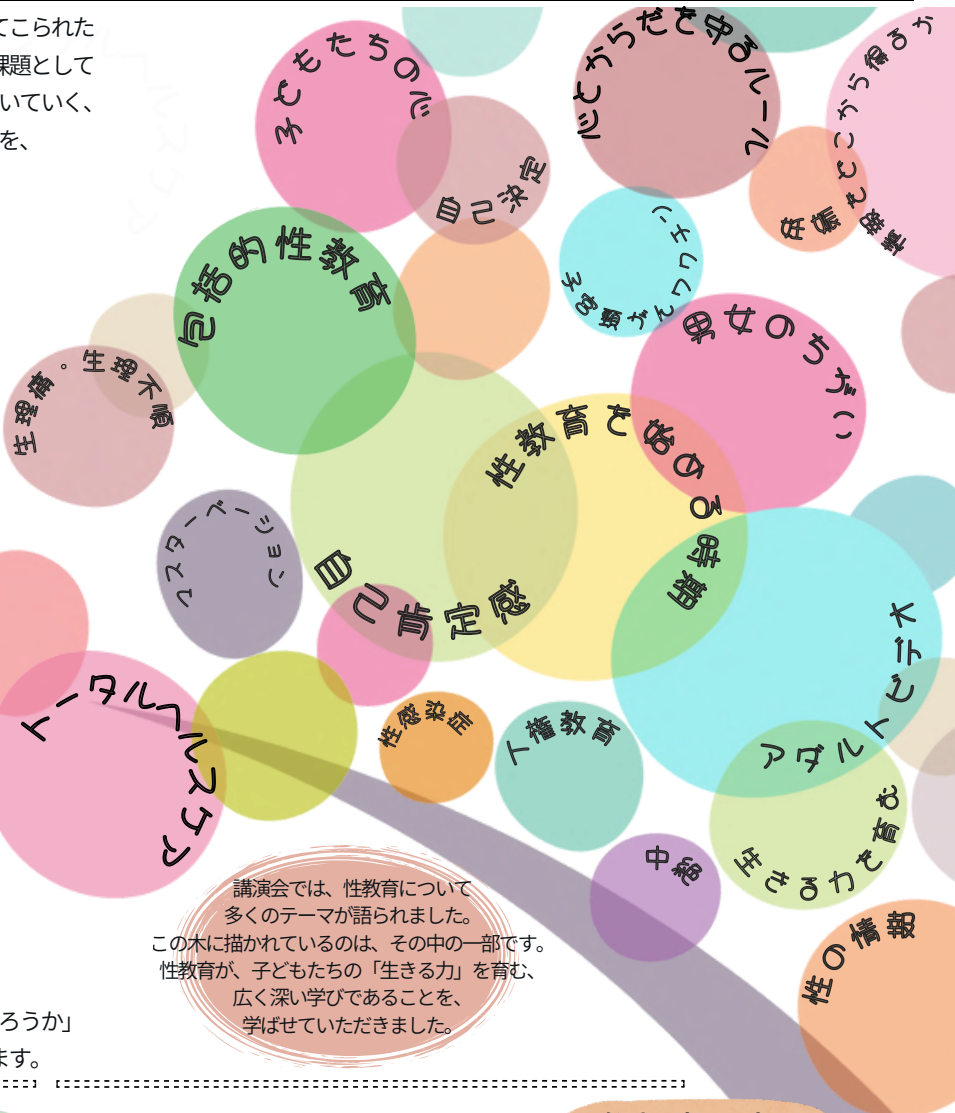
子どもの成長の過程では、幼い頃の「自分の体を知り、大切にしている関わり」から、思春期の「からだや気持ちの変化に戸惑う時期」まで、その時々で必要な支えや関わり方が異なります。

山下先生のお話は、そうした変化を医療の視点から見つめながら、家庭や学校、地域での日常の関わりへとつなげて考える内容でした。

また、大人が子どもを「見守り」「認め」「相談にのれる」存在でいること、そして必要なときには医療や専門機関へとつなぐ役割を担うことの大切さについても、改めて気づかされる時間となりました。

その中で、正しい知識は、子どもを縛るものではなく、自分を守り、必要なときに助けを求めるための力になるという視点が、心に残りました。

参加者それぞれが、自分自身の子育てを振り返ったり、性教育の必要性などに考えをはせていました。
「今の関わりは、子どもにとってどうだろうか」「学校で性教育を進めていってもらうにはどうしたらいいのだろうか」と、各々の立場で考えを巡らせる時間になったことと思います。



講演会では、性教育について多くのテーマが語られました。この木に描かれているのは、その中の一部です。性教育が、子どもたちの「生きる力」を育む、広く深い学びであることを、学ばせていただきました。

男女のちがいについて

- ・異性の子どもを持つ親として、体の洗い方ひとつ取っても異性の事は知らない事が多いので、知れて良かった。
- ・男女の違いを認識し、お互いに尊重すべき点は、よく理解できた。
- ・豊かに、共に生きていくために、お互いを知る、ちがいを認める、大切だと思います。
- ・人生の中のひとつに性行為があると思う。(ない人もいますか) 自分の体も異性(相手)の体も知っておく知識は持っていた方が良いと思います。

性教育の時期について

- ・素直に話を受け止めてくれるこの時期に、正しい知識を学び、自分もまわりの人も大切にできる人間になってほしいという想いから、性教育の必要性を感じました。

人権教育について

- ・知らないまがった情報は人権感覚が育たない。自分を大切にできないし、人も大切にできない。自分を守るのはもちろんのこと、我が子がまわりの友達を大切に、という意味でも、とても大切だと思います。
- ・性教育＝人権教育だと思っているので、すべての方に必要と思っています。
- ・生き方を考えることにつながります。自分をどうやって大切にするのか、他の人をどうやって大切にするのか。これからどう生きていくのか。

包括的性教育について

- ・性を学ぶことは当たり前の身体についての学びであり、子どもの将来の安全な生活を守るために不可欠なものであるという気づきが得られた。
- ・性について知ることに気恥ずかしさやタブーのような意識を感じていたので、包括的性教育を通じて子どもたちが性について肯定的に学ぶことができるようになってほしいと感じた。
- ・性教育ということは知っているようで全く知らなかったことを理解できた。

自己肯定感について

- ・10代の中絶や自殺など本当に多いことに気がついて本日のお話をきいて自己肯定感が低いということをはっきり学べてよかった。
- ・性教育は自分の体を知ること、自己肯定感や健康 (well-being) にとても深く関わっていると知れた。

自己決定について

- ・相手に決めてもらう、自分も決定する事が大切。ちいさな事だけど、そのつかみかさが大切だと思った。
- ・その後の人生を自分の意思で選択し自身の安全な将来を守るために大切な知識であると感じるため。無知のまま臆測や噂で自分の身体を傷つけてしまうような事態を防ぐためにも必要である。



参加者の声

当日講演会にご参加いただいた方の山下先生の講演を聞いてのご感想です

情報をどこから得るのかについて

- ・子どもたちがネット上の情報のみから性に関する情報を得ることで、性虐待にもつながることを知りました。正しい知識を身につけ、周りを尊重できるようになるためにも、性教育は必要だと考えます。

トータルヘルスケアについて

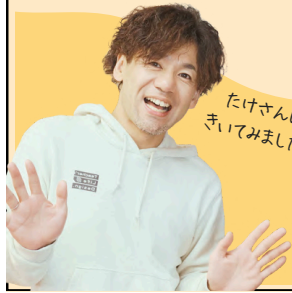
- ・思春期だけとかではなく産まれてから死ぬまで性と関わって生きているんだなあ。
- ・正しい情報を知っている人が少ないなと感じることが多いから。保健の先生も、あまりピルや病院をおすすめする人は少ないから。

妊娠・中絶について

- ・今、14.15歳の妊娠出産が増えていると聞きました。その子達には、「なぜ妊娠したのか」が理解できていない子が多いと聞きました。そして相談できる人が居なかった事で出産したという事。産んだ子供は、育てる事ができない家庭も多く、離れさせてしまうという事を聞いた事があるので、もっと子供達に早い教育ができればと思っています。
- ・いのちについて妊娠、出産についてもっと早くから知るきっかけがあれば、産後うつや児童虐待などへらせると確信しています。

講演会「オトナノツドイ」 グラフィックレコード

グラフィッカー大窪武志さんによるグラフィックレコード。
講演や対話の内容を、絵や図、短い言葉でリアルタイムに可視化していただきました。



たけさんに来てみました！

「グラフィックレコーディング」ってなに？
話の内容を絵や図、短い言葉でまとめて「見える化」する方法です。
むずかしい話もパッと理解しやすくなり、読み返すことで気づきが深まります。

話を聴きながら、その場で内容を絵や図、ことばを使ってまとめる「グラフィックレコーディング（グラレコ）」をする、小学校の先生。学校で子どもたちの学びを支えながら、研修やイベントで対話を描き出す活動をしています。「よく聴く・編む・楽しく描く」を大切に、だれかの思いをカタチにするのが好きです。

2025.12.7(日)

10:00 ~ 13:00

@枚方市立 五常小学校

みんなではぐくむ いのちのフェスタ

今私たち大人ができる

あなたが生きている今日は
どんなにすばらしいだろう

ヘルスケア専門医です

女性の一生を
トータルで見守る

生殖内分米 月経期 婦人科腫瘍学

プロコンセプションケア大切

家庭で性教育、アムスカイ...?



一番大切なもの、何だろう

生きていると
何もできない

「ここ」
「ここ」

いのちの学習・自分の身体を知る

思春期の心の特徴

子どもでも大人でもい存在

この時期に知識という武器を手に

正しい情報「いい」選択
大人は見守る・認める・相談にのる

水着でかかえる部分
↓
プライベートゾーン
性犯罪防
触れさせないルールがある
自分の身体を知る・守る基本
正しい洗い方・プライベートゾーンのケア

性教育

いのち

健康の学習

私はアムスカイ...

フィンランド 17%/年

3%/年

日本は

自己肯定感

10~19才 自殺1位/67

なぜ?

性教育 = 生殖・性

と思われがち

ポリ・Sex
なか
下のお...

通っている!

今ある

禁欲・純潔教育

包括的性教育へ

性を肯定的に
医学的に正しい情報を
自己決定能力が高める

陰茎
外性器

一人ひとりが思うことも
伝えたい

小 + 生 = 生き
11.11.11 11.11.11
人々との心地よい関係をつくる

性行為の知識はどこから?

1位: 友人から

2位: 授業

アダルトサイト・マンガ

254-バージョン
取っ掛かりはいい!!

性欲はコントロールできない
自分の行動はコントロールできる!!

生理・射精についても教育が必要

<大人・親ができること>

気づきを与える
見守り
相談にのる
それ...
「子離れ」
自立=作

親子で病院へいこう!!

中絶できる期間を知っておく! 性的被害(性的暴力・性感染症) 知識をもつ!!

全ては
子どもたちの
Well-being
のために!!!

天の川レディースクリニック 産婦人科医

山下衣里子さん

グラレコを書いているとき、
どんなことを考えているの??

ほとんど何も考えていません(笑)。
というのも、「聴く」「編む」「描く」を分けているので、描くときには描くことに集中しています。
慣れてくると、聴きながら「こんなふうにはけるかな」とイメージできるスピードが、
だんだん速くなっていく感覚があります。

グラレコって私でもできるかな??

「上手な絵」ではなく
「伝わる絵」が描ければ
グラレコはできます!
ちょっとしたコツで
「伝わる絵」は描くことができます。
世界に一つだけの
「あなたにしか描けないグラレコ」を
是非書いてみてください!

一番よく描いているのはスケッチブックです。鉛筆や筆ペン、カラーペンなど、自分好みのペンに出会えるのも楽しいところです。
また、iPadのデジタルスケッチブックに描くのも好きで、グラレコ向けのペンなどを自分で作れる点が入っています。

いっしょに描いているの?



グラフィックレコードができるまで。
描いている様子がタイムラプスで見られるよ!

主催 枚方市立五常小学校 学校運営協議会 保健人権部会

「こと」を考えよう!

劇団GOJYO



2025 〇グラレコ待たけ

全体を「今、大人とワでできること」に通い...

- 一緒に学ぶ
- 子どもの自己決定を大切に
- 「はじめ規定を知る機会
- 現実的にムズかしい
- 子どものコバも大切に
- 子に対する態度を改める
- 親のマナビになる!!
- 失敗を受け止め、向き合う
- 理解も広げ、チラシでお伝えする

1. 場面もみて「違和感」を感じたところは?

2. グループで意見交換しよう!!

場面①「学校での保健の授業の一コマ」

先生～質問していい?

ん?どうしたん?いいよ

受精ってどうやってするん?

ああ...それはお母さんに聞いてな

ん?どゆこと?

先生からはそれしか言われへんねん
ほら、もう下校時間やから帰りや～!

うん...

学校と家庭の共通認識がイマイチ

学校で教えることが
全然じゃない!

母が担うものなの?

先生が教えることを
逃げた

私は
お家の人に聞いておー

場面②「はるさんの家庭での会話の一コマ」

お風呂、順番に入ってな～

うん、わかった～
なあ、今日の「受精」って授業で
教えてもらってん

そうなんや～

受精は分かるねんけど、
どうやって受精するのかわからんねんけど、教えてや～

えっ?それ授業でやってへんの?
受精のことしてるんやったら
先生に教えてもらいたいやん

授業おわってから先生に聞いたら
お母さんに聞いてっていわれてん

先生が教えてくれへんことは
まだ知らんていってことやわ

.....

はよ、お風呂入っておいで!!!

はい...

子どものギモンを
受けとめてほしい

親も勇気がいる

「はじめ規定」
がバイアスに入っている

先生たちも伝えたい

どうやって「性交」も学ぶ?

<日常でできること>

絵本・マンガ・図かん



環境を
とらえる

男子
日やけ止め、すこ。

ジェンダー平等を意識

ジェンダー・バイアス

男の子は
泣いちゃだめなんだ...
思いにサ

境界線を知り、同意をとる



看護師/だかし屋店主

伊崎ミユキさん



性教育が大切!
知識が大切!
「性」の知識が大切!
「性」の知識が大切!
「性」の知識が大切!



劇団GOJYO四コマVer.

講演会後半の“いちくみさんのおはなし”では4コマ漫画に描かれている内容の寸劇を見てもらい、違和感や疑問に感じたことをグループに分かれ意見を出しあっていただきました。
あなたはこのシーンを見てどんなことを感じますか??

ある日の学校で・・



その日のゆうがた、家にて・・



登場人物紹介

この寸劇には4人の登場人物が出てきます。
それぞれのどんな思いでセリフを言っているでしょうか。

はるさん
小学校4年生

五常先生
はるさんの担任



はるさんのお母さん

はるさんのお父さん



おしまい

参加者の感じた違和感をみてみよう

グループごとに寸劇を見て感じた違和感について話し合ってもらいました。
意見をまとめて発表してもらったところ、さまざまな意見が出ました。

『先生に対する違和感や問題点』

- ・質問に先生は逃げた。
- ・先生が家庭任せにしている。
- ・先生も早く帰りなさいと言わずに、ちゃんと学校で教えたほうが良いのでは?
- ・性のことをセンシティブに捉えて、生徒の質問に答えられない、答えたくない家庭に押しつけている雰囲気がある。
- ・子供の質問に答えていない。
- ・教え方を測りかねていて、どうすればいいのかわからない。
- ・質問されたときに、一緒に考える空気を作ってくれて良いのではないかと。
- ・その子だけに答えても、その子だけの知識になってしまうのではないかと。
- ・精子と卵子が結びつくその過程の事は伝えられていないのではないかと。

『子供の心情』

- ・先生に聞いても、母親に聞いても答えてもらえず。たらい回し。
- ・学校と家庭、どちらも答えてくれず、押し付け合っている雰囲気を感じ取って性について知ることがタブーなのではないか知ってはいけな事なのではないかと考えるのではないかと。
- ・学校や親に気持ちを受け止めてもらえていない。
- ・親も先生も学校任せ、家庭任せにすることで、子供がパニックになり不安になる。
- ・逃げずに教えて欲しい。

『母親に対する違和感や問題点』

- ・親は学校任せにしている。
- ・子供の質問を学校に押し付けている雰囲気がある。
- ・子供の質問に答えていない。
- ・親自身も教育を受けていないため教え方がわからない。
- ・家庭で性の話をしてはいけない雰囲気がある。
- ・先生が教えられない事は知らなくてもいいと言う母親の意見。
- ・学校が教えてくれることが全てと考えていると思う。
- ・子供の質問をごまかしていた。
- ・性教育に対して自信がないから子供に説明できない。
- ・性教育をきちんと受けていないため、自信のなさにつながる。

『改善策』

- ・学校と親が共同し合って、伝え方を教育したり、そういった取り組みが必要ではないかと。
- ・人の受精卵の話になっているが、そこからいけな事なのであれば動物の事例から紹介をして少しずつ進めていけば良いのでは?
- ・学校で性教育するのであれば、家に一報入れておけば、もう少し困惑せずに話ができたのではないかと。
- ・質問とその答えはクラスに共有すべきなのではないかと?
- ・わかりやすい教科書や本があったらいいし、授業もしてくれたらいい。
- ・幼児期から話してもらえたら、家庭で話すハードルも下がる。

『父親に関する違和感』

- ・会話に関与しないのが印象的。
- ・子供の性教育に携わるのは母親という固定観念がある。
- ・そもそも話に入らない。
- ・父親と娘との関係性で、性教育の話はできないという風潮があるのではないかと。

『その他』

- ・違和感じゃなくて、普通の出来事、私の家もそうだった。自分の親もそうだった。
- ・娘は保健体育の性教育の授業後『私絶対子供作りたくない』と言った。母はなんで?と思ったが、主人と子供がいたため深掘りできなかった。あの時間聞いていたらよかった。
- ・自由に喋ってはいけない雰囲気が日本には昔からあったので、それが年々受け継がれて御法度な感じになっている。
- ・親や教師が性交渉について教えなかったとしたら、子供たちはどういうところから知っていくのか?
- ・性交渉についてはいつ頃教えるべきなのか?
- ・適正な年齢があるのか?
- ・中学生の子供から聞かれたことがないから、親から話す勇気がいる。
- ・就学前から目につくところに本を用意し、日常的に読む習慣を作ってきた。
- ・子供と一緒に講演に来て学ぶ。

はどめ規定について

寸劇（四コマ）の中で、学校で先生が児童から受精について質問された時、「おかあさんに聞いてな～言われへんねん」と口ごもる場面がありました。

なぜ質問に答えられないことがあるのでしょうか？

それは、学校の先生が教える道筋である学習指導要領の中に、内容の扱い方を制限する「はどめ規定」があることが、一因となっているからです。

はどめ規定とは、ある内容を扱うときに、どこまで、どのように扱うかを制限する文言の通称です。

小学校・中学校の学習指導要領の中で、はどめ規定にあたる部分が、下記の図表1の太字部分です。

この部分が抜け落ちている。
「性交」について教えてくれない！
じゃあだれが教えてくれるの？？



月経・精通を含む 二次性徴⇒()⇒受精・出産
中絶・性感染症・避妊方法

図表 1 学習指導要領のいわゆる「はどめ規定」の内容

| 教科領域 | 内容（関連する部分のみ抜粋） | 内容の取扱い（「はどめ規定」部分を太字加工） |
|-------------|---|---|
| 小学校 理科 | 5年 B 生命・地球 (2) 動物の誕生 動物の発生や成長について、魚を育てたり人の発生についての資料を活用したりする中で、卵や胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。（中略） （イ）人は、母体内で成長して生まれること。 | 「B 生命・地球」の (2) のアの (イ) については、 人の受精に至る過程は取り扱わないものとする。 |
| 中学校 保健体育 | (2) 心身の機能の発達と心の健康 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 心身の機能の発達と心の健康について理解を深めるとともに、ストレスへの対処をすること。（中略） （イ）思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となること。 | 内容の (2) のアの (イ) については、妊娠や出産が可能となるような成熟が始まるという観点から、 受精・妊娠を取り扱うものとし、妊娠の経過は取り扱わないものとする。 |

内容についてはさまざまな解釈の仕方があるものの、教職員が教える範疇ではないと判断されることが多く、結果として学校では扱われない場合が少なくありません。

子どもたちはどこで学ぶの？情報を得るの？

高校でようやく生殖機能について授業の中で学びますが、一方で「性交」そのものについては学ぶ機会がありません。

| 高校 保健体育 (解説) | (3) 生涯を通じる健康 生涯を通じる健康について、自己や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 生涯を通じる健康について理解を深めること。 （ア）生涯の各段階における健康 生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。 | ③結婚生活と健康 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにするとともに、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。（中略） なお、妊娠のしやすさを含む男女それぞれの生殖に関わる機能については、必要に応じ関連付けて扱う程度とする。 |
|--------------------|---|---|
|--------------------|---|---|

（出所）小学校学習指導要領（平成 29 年告示）、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）、高校学習指導要領（平成 30 年告示）解説より事務局作成

では、その部分の情報を子どもたちは、いったいどこで得ているのでしょうか。

統計によると、子どもたちの約半数が、

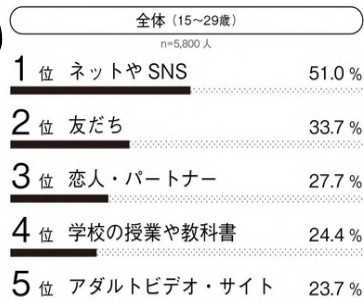
性に関する情報をインターネットやSNSから得ており、そのほか、友人や恋人との会話、学校の授業、アダルトコンテンツなど、さまざまな場面から断片的に情報を受け取っていることが分かっています。そして、その情報が正しいかどうかは子ども自身が判断しています。

男女ともにネット・SNSなどの不確かな情報より知識を得ている



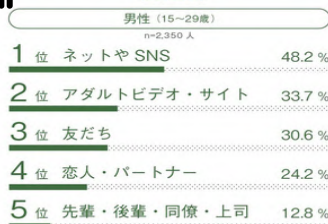
セクシュアル・ヘルスについて

性に関してどこで情報を得る？ （複数回答）



セクシュアル・ヘルスについて

性に関してどこで情報を得る？ （複数回答）



セクシュアル・ヘルスについて

性に関してどこで情報を得る？ （複数回答）



はどめ規定について参加者のご意見

- ・性教育は、自分の心やからだを知り、大切にすることを第一歩だともう。正しい知識を知り、自分を大切にすることでまわりの人も大切にすることができると思う。
- また、異性の心やからだについて知ることは相手の理解につながると感じたので、男女共に異性のことを学んでほしいとおもった。
- 小学校で正しい知識を（はどめ規定をこえて）教えてほしいともう。
- 子どもと一緒に親が学ぶキカイがあればうれしいです。

- ・性にかかわることがタブー視され人権としての性教育がバッシングされて以降課題は山積しています。被害者も、加害者も、傍観者もつくらない為に文科省は生命の安全教育をすすめています。はどめ規定はそのままの、今日のように、がんばっていらっしゃるみなさんがおられること、すすめようとしている人たちがおられること、本当にうれしいです。
- ・「はどめ規定を超える教育を」という思いのもとに、大変素晴らしい企画を実現されたこと、本当に感謝を受けました。こうした取り組みは、日本各地で必要とされていると思いますが、なかなか広がりにつけていない現実もあると理解しております。今後も御校の取り組みから学ばせていただくと幸いです。



大人の対応 3つの約束

大人の対応 3つの約束

怒らない

嘘つかない

ごまかさない

子どもから性交についてや、答えづらい内容について聞かれた時の対応についておはなし頂きました。

○怒らない

びっくりしてつい怒ってしまいがちですが、怒らず答えよう！
(4コマでもつい「まだ知らんでいいの!」と怒ってしまっています)

○嘘つかない

「コウノトリ」が運んでくれる、や「おなかくっつけたら赤ちゃんできるよ」など。
嘘は信頼を失ってしまうので×です。(泣)

○ごまかさない

「下校時間やからかえりや〜」や「お風呂に入りなさい」などすり替えてごまかしてしまうのもNGです。

子どもの権利

なぜちゃんと話さないといけないの？

なぜなら、子どもには知る権利があるから！

子どもだからと教えないことは差別です。

「子どもの最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」には、「その子のペースで育む」とあり、「その子のペース」が一番わかるのは親や子ども達と

いつも一緒にいる先生方です。
質問をしてきたことに対してはぐらかしたりすることは「子どもの意見の尊重」をしていない、ということになります。

大変難しいな〜とは思いますが、是非子どもの意見を尊重して、「怒らない、嘘つかない、ごまかさない」のスタンスで、可能な限り教えてあげて欲しいと思います。

子どもの権利条約「基本の4つの原則」

| | |
|---|--|
|  <p>差別の禁止 差別のないこと</p> <p>すべての子どもは、子ども自身や親の年齢、性別、意見、障害、経済状況などどんな理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障されます。</p> |  <p>子どもの最善の利益 子どもにとって最もよいこと</p> <p>子どもに健康・発達に悪影響を及ぼすことが認められ、行われるときは、「子どもが最大利益にしていること・最もよいこと」を第一に、子どもと一緒に考えます。</p> |
|  <p>生命、生存及び発達に対する権利 命を守られ成長できること</p> <p>すべての子どもは命が守られ、もって生まれた大切な力を十分にその子のペースで育めるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障されます。</p> |  <p>子どもの意見の尊重 意見を表明し参加できること</p> <p>子どもは自分にかかわるあらゆることについて、自由に意見を表明することができ、おとなはそれを子どもの発達に応じて真実に受け止め、一緒に考え行動していきます。</p> |

すべての子どもの毎日に、子どもの権利を。

www.nippon-foundation.or.jp

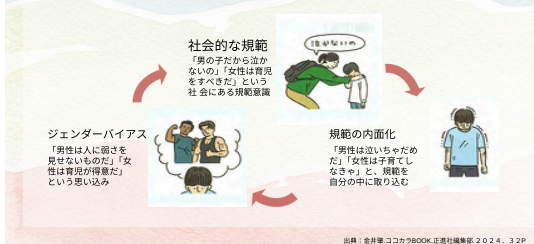
日常でできること

① 絵本やマンガ、図鑑を手にとれる環境を整える

② ジェンダー平等を意識しよう

③ 境界線を知り、同意をとみましょう

ジェンダーバイアスが生まれるサイクル



① 絵本やマンガ等の活用

性教育をさあしよう！と大人が思ってもなかなか子どものタイミングとは合いません。

絵本や本を置いておくことで自分で手に取ったり、本を持って大人に質問してきたりして自然とおはなしするタイミングができるそうです。

② ジェンダー平等

男の子だから、女の子だから、お母さんだから、お父さんだから。それは「ジェンダーバイアス」で、幼少期から植え付けられているすり込みです。それにより苦しんだり、苦しめてしまったりします。

一度意識してみよう！

③ 境界線をして、同意をとろう

同意とは、「はい」「いいよ」と言ってくれたらOK。

答えがないのは「NO」です。子どもにもプライベートがあります。部屋に入る時も声をかけ、「いいよ」の返事をもらってから入るよう

にしてみましょう。

子どもに同意をとってOKもらってから行動する。

これにより子どもの自己決定力を育むことになります。

自己決定が
肯定感を育む！



性についての情報コンテンツ

コンテンツを活用しよう！
周りに聞きづらい時は、きちんとした情報を発信しているサイトで知識を得よう。
「こんなサイトがあるよ」と声をかけてあげられることによって救われる子どもいるかもしれません。
妊娠した時は「妊娠SOS」これを知っているだけで、もしもの時に急な対応ができます。

| | |
|---|---|
|  <p>PILCON THINK ABOUT GENDER & LOVE</p> |  |
|  <p>せいぬる 思おう、思えよう、性のもやもや</p> |  |
| <p>性暴力支援センター 大阪SACHICO</p> |  |

講演会の中でも分かりやすいジェンダーバイアスの動画をご紹介します。

自分自身が持っていたり、私たちの日常に隠れているジェンダーバイアス。知って自分でサイクルを打ち切ろう！という気持ちが必要です。



「あたりまえ」って何？【性別による無意識の思い込みについて考えよう】



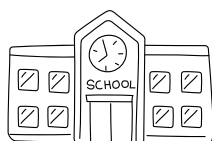
心のジェンダー【性別による無意識の思い込みについて考えよう】

今大人としてできる事って何？

私たちは、親として、教師として、地域で子どもを見守る立場として、それぞれ異なる立場で、日々子どもたちと向き合っています。
講演会の最後には、「今、大人としてできることって何？」という問いを共有し、テーブルごとに対話を重ねました。
参加者の皆さんのご意見を8つのテーブルごとにまとめた内容をご紹介します。



年齢の低い子どもから聞かれて、
どう答えたらいいか迷った場合は、
無理して言葉で伝えようとせず、
絵本等を一緒に見たり、
手に取れる場所に
置いたりするなど、
幼児期から環境を工夫したい。



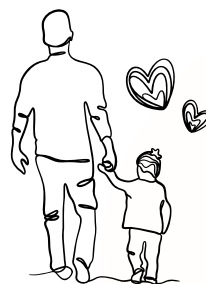
はじめて規定を知らない大人が多く、
「何で学校は教えてくれないの」
と感じている保護者も多いのが現実。
はじめて規定について、
保護者が学べる機会を
作ってほしい。



出産したときに
性教育って大事なんだよ、
と知っていたら、
もっといろいろとできたのでは
ないかなと思う。
例えば乳幼児健診などで
絵本を教えてもらえたら、
子どもに教える機会も設けられたのではないかな。
今後、大人である私たちが
知る機会、を増やしてほしい。



脳は考えないと育たない。
子どもの「考える力」を奪わず、
大いに失敗する許容さを大人がもつこと。
子どもが成長する機会を奪わないようにする。
どうしてほしいか、子ども自身に聞き、
子どもに主体的に学ばせることが大切。
そして、親自身、子離れすることが大切。



家庭の中で、父親にどう関わってもらうかが
大切になってくるのではないかな。
ジェンダーバイアス
(性別に基づく固定概念や偏見)
の視点から私たち自身が
どうするか…。
子どもに寄り添うことを
心掛けてきたつもりだが、
ジェンダーバイアスの視点がなかったか
自分たちが考えていけないといけない。



昔と今とは、環境が全然違う。
インターネットで、誰でもどんな
情報でも手に入られる。
性に関することもしっかり、正しい情報を
どう伝えていくかを考えていきたい。
子どもたちは日本の未来を担うたからもの。
親だけでなく、地域、社会、全ての大人が
しっかりと支えていきたい。



子どもへの愛情表現として
プライベートゾーンへのスキンシップ
(おしりを触る等)をとっていたので、
親子の関係でも同意をとることが
大切だとわかった。
日常の中で同意をとっていく
ということが大事。
それと同時に、「あなたたち(子ども)も、
同意をとられる立場なんだよ」
ということを教えていきたい。



親と子どもとの距離感を大切にしたい。
子どもからの質問をめんどくさいと思わず、
きちんと答えていきたい。
忙しい時でも、夫婦で子どもと向き合い、
どうことを考え、思っているのかを聞き、
それを聞くことで親自身も学んでいきたい。

いちくみさんの第2部では、劇団gojoの寸劇を通して、学校や家庭におけるはじめて規定のもとでの日常の一場面が描かれました。

参加者一人一人が感じた「違和感」の声を取りあげながら、はじめて規定がもたらしている影響や弊害についてお話して頂きました。
参加者の皆さんからは、「子どもたちに性教育は必要」「はじめて規定を超えた授業をしてもらいたい」という声を多数頂きました。

では、学習指導要領にはじめて規定がある限り、学校で性交に関する説明はしてはいけないのでしょうか？

いえ、実際には文部科学省も「はじめて規定は、性交を教えることを禁止するものではない」と示しており、子どもたちの発達段階や実情を踏まえながら、学校の判断によって指導が行われる場合もあります。
五常小学校では地域や保護者の皆さまのご意見も伺いながら、子どもたちが自分のからだや気持ちを大切に、安心して成長していけるよう、性交を含む包括的性教育を進めていきたいと考えています。
今回の講習会に参加された方々からは、はじめて規定を超えることについて100%の賛同を頂きました。

講演会に参加できなかった保護者の方々にも今号の「おくりもの」や講演会動画のオンデマンドを活用頂いた上で、アンケートにてご意見を伺いたいと思います。そのアンケートを基に学校運営協議会に提言させて頂く予定です。

**五常校区に
はじめて規定を超える
包括的性教育を！**



📢 校長先生より

令和4年度のPTA文化委員会主催の講演会は性教育がテーマ（子どもとむきあういのちのおはなし会）で、お招きを受け参加しました。40名ほどの方が参加されていましたが、普段の講演会の会場とは違う、静かな熱気に包まれていたのを覚えています。

講演会の保護者事前アンケート（個別質問）の内容を見た時に大きな衝撃を受けました。こんなにも多くの保護者が、お子様の性教育について悩んでおられること、そして学校は、その保護者の悩みに全く応えることができていないことを痛感しました。そして、性教育は学校教育改革の大きなテーマの一つであると認識したのです。

それ以来、後に保健人権部会員になられる保護者やその賛同者の方々、養護教諭をはじめとする教職員と試行錯誤しながらここまで進んできました。この課題の難しさの一つ目は、性教育は性質上ともすると政治的な動きにもなってしまうということ、二つ目に、それゆえ、文科省のい

わゆる「はどめ規定」が存在することです。しかし、乗り越えるすべがないということではありません。地道に、保護者、地域住民、教職員の理解と賛同を得る努力をし、子どもたちの実態に合わせて、手を携え理想の教育を進めていくことは十分可能と考えています。では、なぜこれまで理想の性教育がなされてこなかったのか。これは、この課題の重要性を認識できていなかったか、認識はしていても、一歩踏み出す勇気がなかったか、のどちらかに過ぎません。

令和6年度から立ち上がった勇気ある保護者による「保健人権部会」により、現在は一歩も二歩、いや、それどころかもっと力強い歩みを進めています。お子様にとってより良い教育を施したい、という思いは保護者、地域、教職員とも同じです。この「おくりもの」を読まれた方は、少しの勇気を出して、この活動への深いご賛同とご意見をお願いしたいと思います。

📢 アンケートご協力のおねがい

「はどめ規定について」のページでもご案内致しましたが、現在五常小学校 学校運営協議会および保健人権部会では、ごじょこ達が自分のからだや気持ちを大切にしながら安心して成長していけるよう、はどめ規定を超える内容の性教育授業を受けられるようにすすめています。

先日の講演会では参加者の皆さまから多くの賛同の声をいただき、あたたかい、熱いエールもよせていただきました。今回講演会に参加できなかった保護者の皆さまにも講演内容が少しでもわかるよう、今号「おくりものVol.5」を気持ちを込めて作成致しましたので、ぜひお読みいただければ幸いです。

お読みいただいた後、内容についてのご感想や、はどめ規定等に関するアンケートへのご協力をお願いいたします。いただいたご意見は集計を行った後、2月の学校運営協議会にて学校への提言としてあげさせて頂く予定です。多くのご意見を頂きたいと思いますので、どうぞご協力よろしくお願い致します！！

アンケートはこちら



×切2月3日

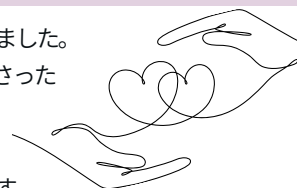


📢 機関紙コンクール受賞！！

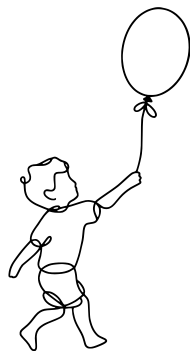
このたび、保健人権部会で制作している「おくりもの」が、枚方市機関紙コンクールにおいてアイデア賞を受賞しました。日頃より活動を支えてくださっている保護者の皆さま、先生方、地域の皆さま、制作・取材・配布に関わってくださったすべての方に、心より感謝申し上げます。

授賞式は2月24日(火)に行われる予定です。

今回の受賞を励みに、今後も子どもたちの心やからだ、人権についてわかりやすい発信を続けていきたいと思っています。



📢 さいごに



早いもので、保健人権部会が発足してから丸一年が経ちました。

活動当初は、何から取り組めばよいのか分からず、手探りのスタートでしたが、保護者や地域の皆様、関係者の皆様の温かいご理解とご協力に支えられ、イベントや講演会など、さまざまな活動を行うことができました。

今回の「おくりもの」では、8月の性教育参観をはじめ、多くの活動のご報告をさせていただきましたが、いかがでしたでしょうか？少しでも私たちの想いや取り組みが伝わっていれば幸いです。

「あなたは世界にたったひとつだけの大切な存在」

子どもたちが、そんな幸せな想いを胸に抱きながら成長していけるよう、私たち大人一人ひとりが正しい知識を身に付け、あたたかく見守り続けていけたらと願っています。

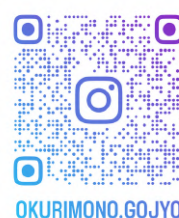
今後ともどうぞよろしくお願い致します。

📢 今後の活動内容

- 1/末 今号「おくりもの Vol.5」購読後のアンケート集計
- 1/26～2/6 まるっとこどもセンター内
男女共生フロアウィルにて活動内容展示
- 1/31 男女共生フロアウィル講演会協力
ワークショップ「妊婦体験」実施
- 2月 養護教諭西田先生による性教育授業参観 授業内容の広報発行
- 2/13 はどめ規定についての保護者アンケート集計結果
学校運営協議会へ報告、はどめ規定を超える授業に関する提言発行

📢 インスタ紹介

五常小学校 学校運営協議会 保健人権部会では、Instagramにて行事内容や活動報告、子どもたちの性教育への情報を不定期であげています。是非、フォローして頂き、みんなでごじょこのいのちと体を守っていく活動のご支援をお願い致します♡



OKURIMONO.GOJYO